

令和7年度 指標・目標値等 報告書

1. 環境マネジメントの推進

長野市環境マネジメントシステム(NEMS)による取組

環境負荷の低減を図り、環境に配慮した事務事業の実施を全庁を挙げて推進するため、次の取組を行っている。

- ① 長野市環境基本計画の進行管理
- ② 市有施設におけるエネルギー使用量の一元的把握
- ③ PDCAサイクルによる次年度への取組の反映 など



第三次長野市環境基本計画に掲げた各指標の令和7年度における取組結果を報告するとともに、令和8年度の指標・目標値を設定するもの



SDGsの達成に向けた取組を推進



環境マネジメントシステム報告の流れ

① 環境調和都市推進委員会の開催(書面開催)

委員長:副市長 副委員長:環境部長 委員:各部局長

【確認事項等】

- ・令和7年度達成状況及びエネルギー使用量の報告
- ・令和8年度指標・目標の決定

② 市長レク

【確認事項等】

- ・令和7年度達成状況及びエネルギー使用量の報告
- ・令和8年度指標・目標の報告

- ↓
- ・市長マネジメントレビューの確認・署名

③ 所属長への周知・長野市ホームページに公開

2. 第三次長野市環境基本計画に掲げた各指標の取組結果

3

詳細 報告2号参照

基本目標	令和7年度の 取組結果	主な未達成項目 (未達成理由)
	目標値の設定数 33(内4再掲) 達成14・未達成18・未確定1	
①脱炭素社会の構築	13指標中、達成4	<u>バイオマス発電量(89.8%)</u> (理由:計画策定時に稼働が想定されていた発電所2カ所が現時点で未稼働であることによるもの)
②循環型社会の実現	4指標中、達成3	<u>使い捨てプラスチックの削減に取り組んでいる(90.6%)</u> (アンケート指標)
③豊かな自然環境の保全	7指標中、達成4	<u>搬出間伐による木材生産量(70.0%)</u> (理由:施業面積や施業環境、施業地の状況などの様々な要因によるもの)
④良好で快適な環境の保全と創造	5指標中、達成3	<u>中心市街地の路上ポイ捨て吸い殻本数(年間)(57.0%)</u> (理由:飲食店が多い長野大通りや中央通りのポイ捨て本数が増加したもの)
⑤協働と学びの推進	3指標中、達成0	<u>環境保全活動参加者数(68.0%)</u> (理由:定員を超える参加申込があったが、活動組織の高齢化など、受入態勢の課題によるもの)

3. 令和7年度市有施設のエネルギー使用量(原油換算)

4

(1) 市有施設のエネルギー使用量の集計

全市有施設(庁舎、学校、指定管理者制度導入施設など)における電気、ガス、灯油等と、全庁用車のガソリン、軽油等を集計した。

(2) 市有施設のエネルギー使用量の状況

種類別のエネルギー使用量は、原油換算すると以下のとおり

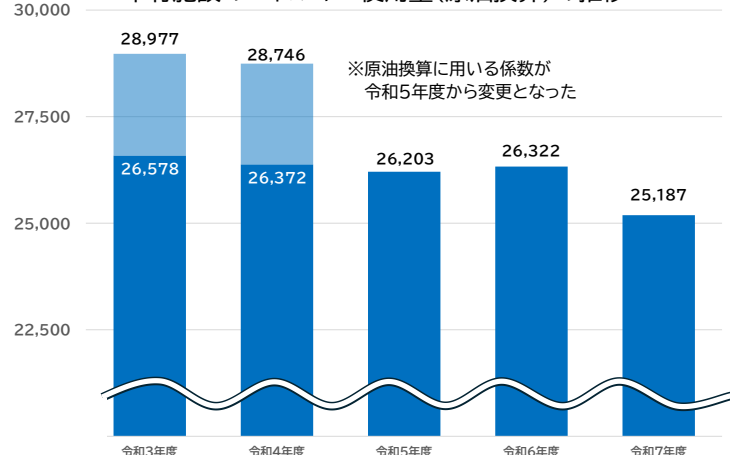
種類別	令和7年度 報告使用量	令和7年度 原油換算量(kℓ)	令和6年度 原油換算量(kℓ)	(参考) 対前年度比(kℓ) 〃 (%)	全体に占める 割合(%)	主な増減の理由
電 気	83,339 MWh	18,577.3	18,551.5	25.8 kℓ 0.1%	73.8%	オリンピック記念アリーナ 整氷機の動力をガスから電気に変更したことによる増(+464.9) 長野運動公園 アクアウイング改修に伴う休館による減(△343.4)
都 市 ガ ス	2,981,534 m³	3,461.6	4,479.4	△ 1017.8kℓ △ 22.7%	13.7%	若里多目的スポーツアリーナ イベント使用数の増加による増(+42.9) オリンピック記念アリーナ 整氷機の動力をガスから電気に変更したことによる減(△576.8)
液 化 石 油 ガ ス (LPG)	130,632 m³	368.7	366.7	2.0 kℓ 0.5%	1.5%	温浴施設における営業時間の拡大に伴う増(+2.1)
ガ ソ リ ン	401 kℓ	345.9	360.4	△ 14.5kℓ △ 4.0%	1.4%	市営バスの運行方法がデマンド型に変更となったことによる減(△12.1)
灯 油	2,158 kℓ	2,031.7	2,123.6	△ 91.9kℓ △ 4.3%	8.1%	東部浄化センター 不調であった機器の修繕に伴う減(△23.1)
軽 油	271 kℓ	265.4	291.3	△ 25.9kℓ △ 8.9%	1.1%	戸隠スキー場 暖冬により圧雪車の使用回数が減少したことによる減(△12.5)
A 重 油	136 kℓ	136.6	149.4	△ 12.8kℓ △ 8.5%	0.5%	保科温泉 故障していたペレットボイラーの使用再開に伴う減(△11.5)
合 計		25,187.2	26,322.2	△ 1135.0kℓ △ 4.3%	100.0%	

(3) エネルギー使用量(原油換算)の推移

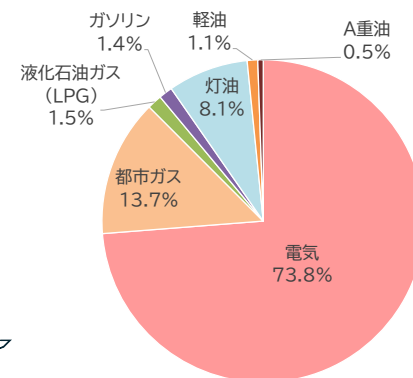
市有施設のエネルギー使用量(原油換算)の推移は以下のとおり

年度	使用量
令和3年度	28,977 kℓ
令和4年度	28,746 kℓ
令和5年度	26,203 kℓ
令和6年度	26,322 kℓ
令和7年度	25,187 kℓ

(kℓ) 市有施設のエネルギー使用量(原油換算)の推移



令和7年度 市有施設のエネルギー種類別構成比(原油換算)



4.【第六次】長野市役所温暖化防止実行計画の進捗状況について

令和7年度 長野市役所温室効果ガス排出量(全市有施設)

種類別	R7 CO ₂ 排出量(t)	R6 CO ₂ 排出量(t)	前年度比(t) // (%)	R7 割合(%)
エネルギー起源	42,413	46,114	Δ3,701 (Δ8.0%)	96.1%
非エネルギー起源	1,707	1,769	Δ62 (Δ3.5%)	3.9%
合 計	44,119	47,884	Δ3,765 (Δ7.9%)	100%

※エネルギー起源:燃料(電気、ガス、灯油等)の燃焼で発生・排出される二酸化炭素(CO₂)

非エネルギー起源:燃料の燃焼以外の要因(下水の処理等)で発生・排出されるCO₂

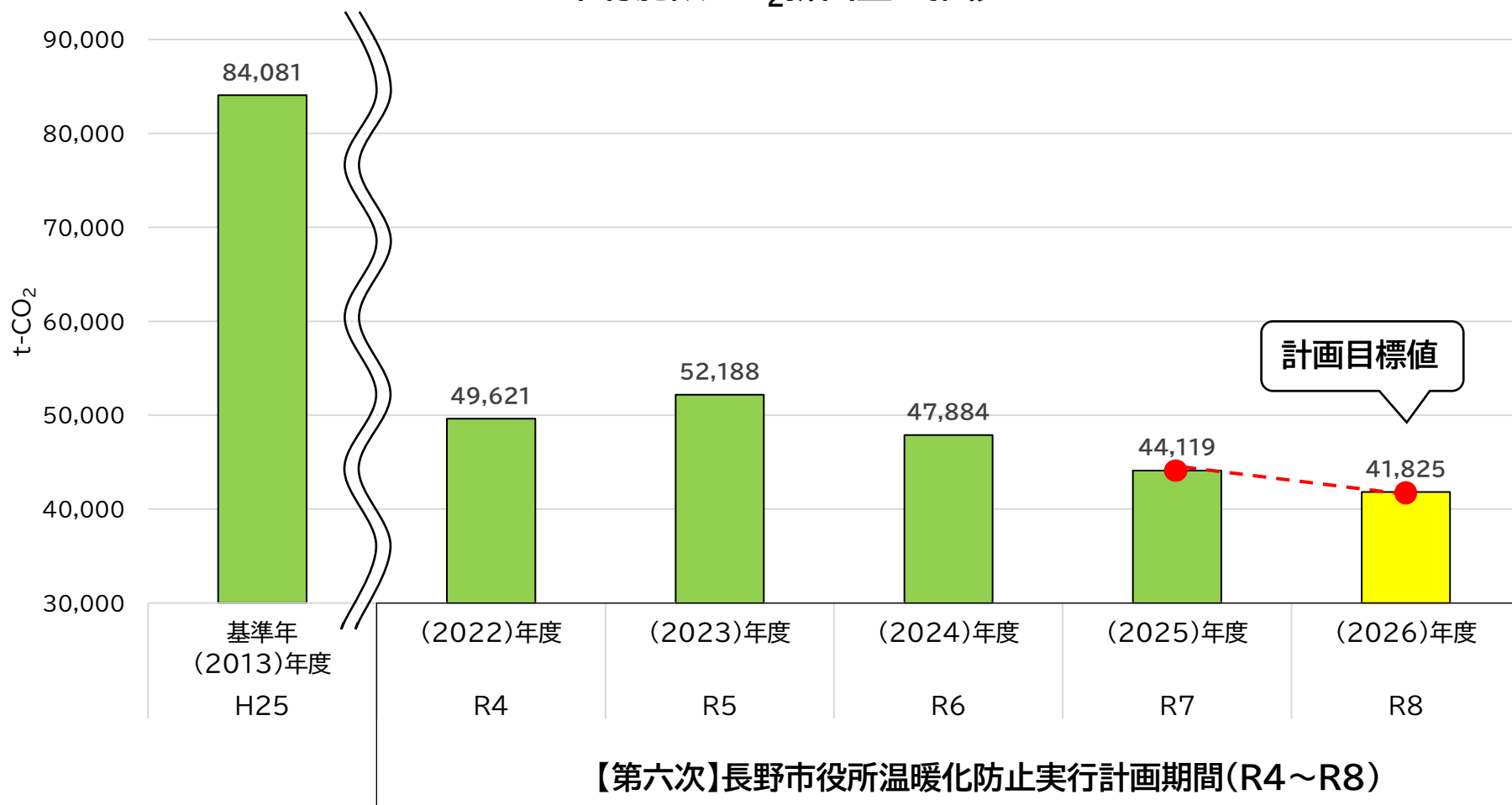
【参考】温室効果ガス排出量の減少理由

- ・都市ガスの使用量の減少
- ・電力会社の排出係数の減少

【参考】排出係数比較(電気使用量上位5位までを抜粋)※単位:t-CO₂/千kWh

電力会社	R6 CO ₂ 排出係数	R7 CO ₂ 排出係数	割合(%)
中部電力	0.421	0.411	68.9
ながのスマートパワー	0.139	0.094	22.0
岐阜電力	0.000	0.000	3.1
ENEOS	0.506	0.508	1.9
ハルエネ	0.318	0.353	1.5

全市有施設CO₂排出量の推移



- ・計画目標値(41,825t-CO₂)に対し、令和7年度のCO₂排出量は44,119t-CO₂。
- ・残り1年間で約2,294t-CO₂(約5.2%程度)削減する必要がある。

【長野市における環境に配慮した主な取組とその効果】

【施策1】 低炭素電力の導入	ごみ発電電力の市有施設への導入			
	令和7年度導入量(kWh)	CO ₂ 排出係数(t-CO ₂ /kWh) ※カッコ内は大手電力会社	削減したCO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	備 考
	18,306,881	0.094(0.411)	5,803.3	令和7年度導入量におけるながのスマートパワーのCO ₂ 排出量と大手電力会社のCO ₂ 排出量を比較し、その差を削減量とした。
【施策2】 太陽光発電システムの導入	市有施設への太陽光パネルの導入			
	令和7年度時点の導入量 (kW)	令和7年度発電量(kWh)	削減したCO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	備 考
	1,789.5	1,306,602.9	537.0	令和7年度発電量の1,306,602.9kWhを大手電力会社から購入していた場合のCO ₂ 排出量を削減量として算出
【施策3】 省エネ改修及びZEB化の検討	市有施設のZEB化			
	公共施設(建築物)の数(件) ※令和3年4月時点	省エネ性能の自己評価 実施件数(件)	ZEBの件数 (件)	備 考
	1,367	15	8(ZEB Ready) 1(ZEB Oriented)	建築課が行っている省エネ性能の自己評価の数値 令和5年度より新築・改築及び断熱改修を伴う長寿命化改修工事に対して実施

【ZEB】

室内環境の質を維持しつつ、エネルギー負荷の抑制や効率的な設備システム等の導入により、大幅な省エネルギー化を実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、年間のエネルギー収支をゼロとすることを目指した建築物

区分	一次エネルギー削減率 (創エネ含む)	省エネによる削減率 (創エネ除く)	特徴
『ZEB』	100% 以上	50% 以上	省エネと創エネにより年間のエネルギー収支ゼロ以下を達成
Nearly ZEB	75% 以上 100% 未満	50% 以上	『ZEB』に準じ、エネルギー消費量を75%以上削減
ZEB Ready	50% 以上	50% 以上	創エネなし、省エネ設備のみで50%以上削減
ZEB Oriented	対象外	30% または 40% 以上 加えて未評価技術の導入	1万㎡以上の大型建築物を対象とした省エネ基準。建物の用途により求められる削減率が異なる。(学校・事務所等:40%、集会所等:30%)

【施策4】
低公害車導入
推進及び
EV導入の検討

EV(電気自動車)の導入

令和7年度時点の導入台数 (台)	令和7年度総走行距離(km)	削減したCO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	備 考
4	22,287	0.7	ガソリン:2.29t-CO ₂ /kl(燃費24.0km/ℓ) 電力:0.411t-CO ₂ /千kWh 走行距離から車の燃費を24.0km/ℓとして逆算すると、 ガソリンが929ℓ必要となる。

【施策5】
再生可能エネ
ルギーの導入
推進
(太陽光を除く)

小水力発電設備の導入

令和7年度時点の導入量 (kW)	令和7年度発電量(kWh)	削減したCO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	備 考
29.2	124,032.5	51.0	令和7年度発電量の124,032.5kWhを大手電力会社 から購入していた場合のCO ₂ 排出量を削減量として算 出

木質バイオマス燃料使用設備の導入

令和7年度燃料使用量(t) (薪・木質ペレット)	令和7年度使用熱量(GJ)	削減したCO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	備 考
68.9	908.9	62.3	木材:13.2MJ/kg 灯油:36.5GJ/kl, 2.5t-CO ₂ /kl 使用熱量を灯油換算すると灯油の使用量は、24.9kl

【施策6】
市有施設及び
道路灯、公園灯
のLED化

道路灯等のLED化(長野市道路等照明灯LED化ESCO事業での実績)

種別	LED化済照明数(灯)	削減したCO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	備 考
道路	2,966	-	横断地下道、駅自由通路は除く
公園	669		事務室、トイレは除く
排水機場	1,073		一部未交換箇所あり